

令和4年度 施政方針

2月24日に開会した市議会定例会で、鈴木市長が令和4年度の施政方針を表明しました。
重点的に取り組む施策など、主な内容をお伝えします。



私たちはこれまで、GDPや株価など数値化できるものを尺度にし、専ら経済成長を追求してきました。

しかしながら、疫病がまん延する中で、真の豊かさとは何であるかを考え直し、経済的豊かさと同時に、時にはそれ以上に、人とのつながりや、文化やスポーツに親しむ精神的豊かさの重要性も認識されるようになってきたと思います。

かつて、保守政治の良心と言われた政治家がおりました。「明日枯れる花にも水をやる」と言ったその方は、第68代内閣総理大臣大平正芳であります。大平総理は、急速な経済的

発展が自然と人間の調和を欠いてきたとの反省に立ち「田園都市構想」を打ち出し、文化の重視、人間性の回復、そして健康でゆとりのある暮らしを実現しようとしたのですが、道半ばで急逝されました。それ以降、歴代の政権がさまざまな地域振興策を講じ、東京一極集中を是正しようとしてきましたが、残念ながらこれといった成果は出ておりません。

しかしながら現在、皮肉にもこのコロナを契機として、地方回帰への気運が生まれつつあり、まさに地方は大きなチャンスを迎えていると考えております。

地方分散の動きはまだ、東京近郊の地域にとどまっていますが、疫病や地震、水害など、大都市の抱える潜在的リスクに対する懸念や情報通信技術の発達により、長い目で見れば、地方への人の流れが本格化していくものと考えております。だからこそ各自治体は、それぞれの個性を磨き、地方で暮らすことの豊かさを実感できるような政策を講じていくべきものと思っております。

市としては、改めて白河の恵まれた条件を活かしているのか問い直し、立地性や、歴史・文化の蓄積を活用しながら、多くの人々が真の豊かさを享受できるまちづくりの力を入れてまいりたいと考えております。

白河市長 鈴木和夫

2.健康・福祉・医療プロジェクト

拡 白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業

未来を担う子どもの健やかな成長を支援するため、対象年齢を2歳・3歳児まで拡大するとともに、対象品目を広げ、保護者の経済的負担を軽減します。



新 福祉・介護人材確保支援事業

地域の介護人材を確保するため、介護職を志す方や、しらかわ介護福祉専門学校および専門学校生を支援します。



拡 インフルエンザ予防接種費用助成事業

これまで受験を控える中学3年生に実施してきたインフルエンザ予防接種費用助成（1回2,500円）の対象を、感染者数が比較的多い中学生以下全員（生後6か月以上）と、重症化リスクの高い妊婦に拡大します。

継 高齢者見守り生活支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすため、移動販売車で高齢者サロンや集会所、個人宅を巡回し、買い物などの日常の楽しみを提供するとともに、高齢者世帯を見守ります。



1.安全・安心プロジェクト

継 新型コロナウイルスワクチン接種事業

新型コロナウイルス感染症対策として、市民を対象に予防接種法に基づくワクチン接種を速やかに実施します。

拡 防災マップ配布事業

浸水想定区域の見直しや、災害対策基本法の改正による避難勧告の避難指示への一本化などから、最新の防災情報を周知するため、内容を更新した防災マップを配布します。



新 保育園・幼稚園施設環境整備事業

安心して保育・教育ができる環境を整備するため、保育園、幼稚園に防犯カメラを設置します。

継 緊急自然災害防止対策事業（河川） 緊急浚渫推進事業（河川・農業用ため池）

河川災害を未然に防ぐため、河川護岸、河床の改修工事を行います。

また河川や農業用ため池の排水不良や貯水機能の低下による浸水被害を防止するため、堆積した土砂の撤去や繁茂した樹木などを伐採します。



5.都市基盤プロジェクト

新 白河市総合計画策定事業

第2次総合計画（平成25年度策定）が令和4年度で終期を迎えることから、今後の市政運営の指針となる新しい「白河市総合計画」を策定します。



拡 予約型乗合タクシー実証実験事業

利便性が高く、効率的な公共交通の導入を検討するため、現在実施している表郷・大信・東地域に加え、新たに小田川・大沼地域を対象に、デマンド方式による乗合タクシーを試験的に運行します。



新 勧工場跡地と旧脇本陣蔵座敷の空間整備事業

街なかのにぎわいを創出するため、地域住民とともにワークショップを重ねるなど、勧工場跡地の戦略的な整備方針を検討します。

拡 しらかわセーフロード事業

市民が安心して生活できるまちづくりを進めるため、現場打削溝などの改修を行い、道路の安全を確保し住宅地の居住環境の向上を図ります。

拡 空き家対策計画改定事業

現状に即した効果的な空き家対策を推進するため、市内空き家の実態調査を実施するとともに、平成30年3月に策定した空き家対策計画を改定します。



3.産業・雇用プロジェクト

継 サテライトオフィス推進事業

オフィス分散やテレワーク導入を検討している企業を、人材育成センター内に整備したラ・クリエーションプラズなどへ誘致するため、企業とのマッチングイベントに参加するとともに、企業のサテライトオフィス開設費用の一部を補助します。



拡 農業の未来をつくるスマート農業推進事業

農作業の省力・軽労化を図るため、ICT機器やロボット技術導入に要する経費の一部を補助します。また一定の事業費を超えるものについては、補助上限をかさ上げします。



新 白河が応援、白河を応援プロジェクト事業

「知ってもらう」「食べてもらう」「来てもらう」の3つの視点で、新聞広告やインフルエンサーなどを通して、本市の魅力ある情報を継続して発信し、白河ファンを増やします。



継 しらかわ観光ステーション整備・活用事業

JR白河駅舎に隣接する既存建物を、観光客が楽しみながら観光プランやまち歩きルートを考える体験型の観光案内所として、コンピエーニュ広場と一体的に整備することにより、新たににぎわいを創出します。



6.コミュニティ・環境等プロジェクト

新 デジタル・デバイド対策事業

デジタル機器に不慣れな高齢者が安心してスマートフォンを活用することができるよう、スマートフォン教室を開催し、世代間に生じる情報格差の解消に取り組みます。



拡 ICT活用行政スマート化事業

スマートフォンなどから、いつでもどこからでも行政手続きができるようオンライン申請の環境を整備します。



新 脱炭素チャレンジしらかわ事業

ゼロカーボンシティの実現に向けて、市民の環境保全への関心を高める取り組みを推進するとともに、本市の将来的な脱炭素に向けた「地球温暖化対策実行計画」を策定します。

新 小中学校施設照明LED化推進事業

ゼロカーボンシティを推進するとともに、維持管理経費を削減するため、すべての小中学校施設の照明をLED化します。



継 複合施設整備事業

市民会館跡地に「健康増進」「子育て支援」「生きがいづくり」の機能を柱とした複合施設を整備するため、基本設計を取りまとめ、実施設計および管理運営計画の策定に着手します。



4.教育・文化・生涯学習プロジェクト

継 風月の芸術祭in白河（福島ビエンナーレ2022）開催事業

文化力の向上・発信や、まちなかの活性化を図るため、だるまや狛犬などの市内の歴史的資源を活用した、著名なアーティストによる現代アート作品を商店街や寺院などに展示する芸術祭を開催します。



新 ビャッコイ自生地植生調査事業

県指定天然記念物「ビャッコイ自生地」の学術的な位置づけを行い、適切な保全、継承を図るため、国指定天然記念物への指定に向けた植生調査などを実施します。



新 しらかわデジタルミュージアム公開事業

白河の歴史・文化の奥深さや魅力を広く知ってもらうため、市所蔵の古文書や美術工芸品などの情報を、手軽にインターネット上で検索・閲覧できるようデジタルデータ化し、公開します。

新 みんなの笑顔がつながる家事分担事業

男性も女性もあらゆる分野で活躍できる社会を推進するため、男性が家事・育児・介護等積極的に関わる意識を育てるセミナーなどを開催します。

新 ボッチャ推進事業

広く市民がスポーツに親しめる機会を創出し、健康増進や共生社会を実現するため、東京2020パラリンピックで関心が高まった「ボッチャ」の体験会や講習会などを実施します。

